

■梅川委員の意見要旨

番号	委員名	要旨	対応方針
1	梅川委員 【1/17（月）】	P11の犬山市の観光入込客数を見ると、やはりコロナの影響でかなり数が減少している。特にP12の外国人宿泊者数は253人と非常に少ないことが確認できた。	観光を取り巻く現状と課題の項目では、全国、愛知県、犬山市の状況を数値で示している。これはR元年度実施した調査の一部を抜粋して取りまとめたものにR2分を追加したものである。完成版ではレイアウトなど再度検討し見やすくなるように精査する予定。なお、R元年度調査分全体は資料編に掲載する予定。
2		P16の他都市の観光消費額比較のうち宿泊消費額は、長期滞在の宿泊客もいると思うが、泊数の違いはあるのか。	他都市のデータも含めて確認する。
3		P18の「2-4 現状と課題の整理」について、課題としてまとめた「滞在・宿泊」は、戦略の中で宿泊、体験を伸ばしていく施策を展開していくこととしていることもあるため、タイトルを「宿泊・滞在・体験」と変更してはどうか。	ご助言のとおり、この戦略で伸ばしていきたい部分（課題であるところ）は「宿泊・滞在・体験」であるので、課題のタイトルを変更する。
4		P26の「テーマ：昇龍道プロジェクト」について、コンセプトは良いし理解するが、これまでと今後の展開はなかなか厳しいとも感じている。広域資源は重要度の順番に掲載されている訳ではないと思うが、尾張藩などを前に持ってきた方が良いかを感じる。また、掲載のボリュームを小さくした方が良くとも思う。	広域の資源は優先順位はなく、掲載順にも特段の理由はないので、変更する。「3-2犬山市内・周辺・広域の観光資源」の項目はレイアウトの整理が必要と感じているので、完成版までに精査を続ける。
5		P27の「テーマ：尾張藩連携」のような広域連携が実現するとおもしろい。犬山市を拠点のベースとして、広域からも犬山市へ足を運んでもらえるようになるとよい。	広域連携は、連携の範囲、テーマなど効果のある取組みとすべきであり、しっかりと精査した上で、進めていく。尾張藩連携については、テーマ別広域連携の有効な取組みであると認識しており、今後も促進していきたい。またこの連携で犬山市への誘客が進むように努めたい。
6		P30の「（3）犬山らしさの特徴」とP36の「4. 観光戦略の体系」の間に「参考資料：犬山市内の小中学校の校歌のテキストマイニングによる犬山らしさの分析」があり、大変興味深く犬山らしさが良くわかる資料である。一方で、3-3犬山らしさの特徴から4-1犬山らしさの基本コンセプトは連続した方が流れが良いので、P30の「（3）犬山らしさの特徴」にテキストマイニングを包含するようなレイアウト、取りまとめ方としてはどうか。そのため、図表もコンパクトにすると良いと感じる。	戦略冊子の一連の流れを良くするために、ご指摘の内容を踏まえ、完成版までにレイアウト、取りまとめ方を工夫する。
7		P45の「犬山市民を観光ターゲット/担い手・参画者と捉えたときの対応方針」により犬山市民の位置付けをターゲットと担い手の両方からまとめ、明確にしたのは重要なことである。	市民も楽しむ観光であるべき、という視点は前回の観光戦略会議で久世議員からご指摘があり、さらに犬山市民をターゲットとして捉えた時の考え方については、前回専門部会（12/27開催）での服部先生、及び梅川先生のご助言により今回のとおり取りまとめることとなった。
8		P50の「施策の総括表」に“課題”を記載すべきかどうか。判断は事務局にお任せするので、検討いただきたい。	3つの課題（滞在・宿泊、魅力の向上、おもてなし・受け入れ体制）を把握し、課題に対応する形で3つの基本理念を設定している。そこから基本理念に対応する方針別施策を示し、紐づく形でチャレンジする施策、目標設定、と一連の施策の流れを把握・確認する表となっている。市民、そして特に観光関係者（行政含む）が本表により施策の理解を進めるためのものであり、課題はそのまま記載としたい。
9		P53の「犬山城下町エリア」の将来構想図で示した“遊園ゾーン”はこの戦略で最も重要なゾーニングの一つと理解している。遊園ゾーンの重要性を特出しというか、もっとアピールできると良いと感じた。表現の仕方を工夫するなど検討いただきたい。	前回会議（11/19観光戦略会議）で提出した図から、遊園駅、鶺鴒乗船場（木曾川観光(株)）も含め、遊園ゾーンと設定した。会議でも述べたが、ハード整備とソフト事業がどうするか、この空間はどうあるべきか、については地域の方との想いの擦り合わせが必要だと認識している。皆が夢を描けるよう、策定以降、対話の場づくりを進めたい。
10		P91の「10.戦略の評価と見直し」では、PDCAの中でも“C”が最も重要である。体制図にある戦略会議は「戦略推進会議」として戦略の進捗をチェックし助言する役割を担ってほしいと思う。	戦略は完成した後からこそが大切であり、PDCAサイクルの中で適切に事業を進め、進行管理をしていく必要がある。市独自の評価だけでなく、外部からの検証も必要と考えており、観光戦略会議、もしくは専門部会委員の方の中から引き続きご助言いただきたいと考えている。